

特定鳥獣保護管理検討委員会及び屋久島世界遺産地域科学委員会ヤクシカ・ワーキンググループ合同会議について

1 合同会議について

鳥獣保護管理法への改正に基づき、既存の特定鳥獣保護管理計画に替わり策定する第2種特定鳥獣管理計画を、世界遺産地域における個体数管理等を含む全島を対象とした統合的なヤクシカ管理計画として策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会とヤクシカワーキンググループの合同会議により検討することとした。

2 検討委員について

特定鳥獣保護管理検討委員会

【学識経験者】

船越 公威	鹿児島国際大学教授
矢部 恒明	森林総研九州支所グループ長

【自然保護団体】

手塚 賢至	屋久島生物多様性保全協議会会長
-------	-----------------

【関係機関】

笠井 林	上屋久猟友会長
小脇 清保	屋久町猟友会長
西橋 豊啓	種子屋久農業協同組合屋久島本部常務
牧 実寛	屋久島森林組合代表理事組合長

ヤクシカ・ワーキンググループ

【科学委員会委員】 5名

矢原 徹一	九州大学大学院理学研究院教授(座長)
小泉 透	(独)森林総合研究所 研究コーディネータ
荒田 洋一	樹木医(屋久島在住)
湯本 貴和	京都大学霊長類研究所教授(副座長)
松田 裕之	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

【特別委員】 4名

手塚 賢至	ヤクタネゴヨウ調査隊代表 (重複)
鈴木 正嗣	岐阜大学応用生物科学部教授
濱崎 伸一郎	(株)野生動物保護管理事務所関西分室長
杉浦 秀樹	京都大学野生動物研究センター准教授

合計 15名

3 経緯等

平成22年 7月28日 平成22年度第1回屋久島世界遺産地域科学委員会において、
ヤクシカ・ワーキンググループの設置について承認

平成25年 9月27日 第7回ヤクシカ・ワーキンググループ開催（屋久島町）

平成26年 2月28日 第8回ヤクシカ・ワーキンググループ開催（鹿児島市）

平成26年10月25日 特定鳥獣保護管理検討委員会及び屋久島世界遺産地域科学委員会ヤクシカ・ワーキンググループ合同会議開催（屋久島町）

4 平成26年度第1回合同会議の検討概要

(1) 生息数の確認について

ヤクシカの分布の傾向については、間違いがないと思われるが、調査点数の少ない糞粒法では、年ごとの誤差が多く出るので、誤差の少ない方法を検討すること。

(2) 被害の把握について

シカによる農業被害は大幅に減少しているが、森林の被害や畜産のダニ被害、果樹園等でのヒル被害など、現在把握されていない被害を反映すること。

(3) ヤクシカの捕獲について

捕獲は農地周辺ではシカの目撃が減ってきているとのことなので、捕獲の効果が出ているものと考えられるが、それ以外の場所においては、依然として多いと思われることから、ヤクシカの行動や生態を把握して、地域毎に群れを対象に集中した捕獲を行うことが必要。

(4) モニタリング

メスジカの行動圏を把握することは、群れの行動圏を知る上で重要である。

ヤクシカの生息数を推計するためには、増加率を知る必要がある。できる限り多くの令別妊娠率のデータを蓄積するための体制作りが必要である。

(5) 生態系管理目標

西部地域など被害の酷い地域でも植生保護柵の設置により林床の回復が見られることから、各地域での林床植生の回復可能性を見ながら、管理目標の設定を行うこと。

5 平成26年度第2回合同会議の検討事項等

(1) ヤクシカの生息状況等について

(2) 第2種特定鳥獣管理計画について

① 第2種特定鳥獣管理計画(素案)について

② 生態系管理目標(素案)の設定について